

# aiのアルバム

7777ai ai





リフレッシュ !!

---

みなさま こんにちは。

このアルバムを開いてくださって、ありがとうございます・・・☆

お気に入りの景色、そして 天地真理さんの歌の印象を書きとめています

少しでも寛いでいただけたら、幸いです ♪♪









高野原 高森町 月形公園の芝生広場。  
ギザギザの山は琵琶湖の湖底、標高(1433m)です。  
真ん中にちよんと飛び出した「天狗岩」が石鼻。  
見る角度で表情が変わるので、「七瀬山」とも言われます  
暑たちも七変化  
頭の上を雲のカメさん 通過中♪





四季折々に、雄大な姿ー



南阿蘇アスペクト 野外音楽堂























「旅立ちは風の国へ」

もう一度歌うこと・・・再起を信じ、試練に立ち向かった真理さん。  
何かを悟ったかのような、  
澄んだ歓びに満ちた歌声が印象深い、メッセージソング。

さあ、あなたも前を向いて歩いていこうよ。過ぎたことは振り返らないで  
トンネルをくぐりぬけ、新しい風を体いっぱい感じてー

つまずいて、また歩いて。それが愛という旅路なの・・・  
曲中に溢れる清々しさ、潔さに、心洗われるひと時です。

私たちは、無条件の愛を本能的に求めますが、  
この時の真理さんの歌声は  
旅人として共に生きる人々へのさわやかなエールに満ち、  
言葉では言い尽くせない  
共感と優しさに満ちたものだったと感じます。

現代の私たちに、  
疲れた心身の回復、再スタートの勇気をそっと授けてくれる  
天地真理さんの隠れた名曲の一つ。





菊池川河川敷（山鹿市）に咲く菜の花





カバー曲 「春の風が吹いていたら」

誰かがならず 草笛が  
春風にのり 吹きわたる  
どこかで泣いて いる人の  
心にきつと とどくよう

真理さんの 歌声のあたたかさは、  
穏やかに吹き抜ける、春風のイメージそのもの・・・☆













歌は よろこびのために。

蒔かれた種が芽吹き始め、  
想像を超えた形で、あの日の かなしみが報われていく

天地真理さんの歌は、青春の最も瑞々しい瞬間の息吹き。  
生命のつながり、優しさ、輝き、躍動、叫び・・・  
孤独や哀しみの淵に立って気づく、歌の尊さ。

人は進化するのだとしたら、  
この人生全体が、「青春」の光の陰陽を織りなす  
一枚のタペストリーだったと、言える日がくるかな・・・





「おとぎの国へ」

再春館 お花のパーク (熊本市)



## 青春の詩 サミュエル・ウルマン

---

青春とは人生の一時期のことではなく、また肉体的な若さのことでもない。  
心のあり方をいう。

バラ色の頬や紅い唇、しなやかな手足のことではなく、  
タフな精神、豊かな想像力、燃える情熱をさす。  
青春とは、湧き出でる深い命の泉の清新さをいう。

弱気に打ち勝つ勇氣、易き（やすき）に流される心を振り捨てる探究心、  
それを青春という。

時には二十歳の若者より六十歳の方が、青春を生きている。  
年齢（とし）を重ねただけでは人は老いない  
理想をなくした時、老いが訪れる。

歳月は肌に皺を刻むが、意欲の消失は心に皺を作る。  
悩みや疑い・不安や恐怖・失望により若さは失われ、心は空虚となる。

八十歳になろうと十六歳であろうと人は、驚きへの憧憬、子供のような探究心、  
人生の喜びとそれに対する興味を変わず胸に抱くことができる  
人や神々から、美や喜び、勇氣や力などを感受し続ける限り、その人は若い。

感性が鈍り、心が皮肉の雪に被われ、嘆きや悲しみの氷河に閉ざされる時、  
たとえ二十歳であろうと、人は老いる。  
志高く、希望の波をとらえるならば  
八十歳であろうと人は青春を謳歌し、生を全うすることができる。





今はまだ幼くて、心もとない私たち。  
挫けそうになったら、  
歌をうたって、心の絆を暖め合うのよ。  
曇り空の中に、あなたの夢が消えてしまわないように、  
いつまでも寄りそって・・・

私の幸せは、あなたの愛を感じることに、ただそれだけ。

めぐり合って 不思議ね。  
この道が未来へ続くことを信じて  
守り育てていきたいの  
生まれたばかりの、二人の愛を一

\* \* \*

恋人への 清く透き通ったまなざし。  
「明日への愛」は、真理さんの持つひたむきなイメージを  
最も素晴らしい形で表現したナンバーの一つです。

倍音に富む歌声・・・それは「愛」の音色といえるでしょうか。  
数十年の歳月を感じさせない 透明感、躍動感。  
あたたかいメロディーに映える、その立体的な声の響きが、  
壮大なタイトルにふさわしい世界を創っています。  
まさに、「愛の贈りもの」

凛とした強さと、包み込むような優しさが、  
現代の私たちの心に 溶け込んでいきます。



阿蘇にしはらウインドファーム。

大型風車は10基。支柱の高さ9.3m、プロペラの回転直径6.6m  
南阿蘇から、空港（益城町）、熊本市内へ向かう途中に広がる光景です





兜形の烏帽子岳が中央に見えます☆



「青」は天の色

創造と癒しの源であり、すべての始まりの色。



手と手をつなごう！

---



ありがとう

---

## ai のアルバム

<http://p.booklog.jp/book/45586>

著者 : 7777ai

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパー ( <http://p.booklog.jp/> )

運営会社 : 株式会社paperboy&co.